

CLOSE-UP 1

ながいコインがますます便利に!

令和4年から本格的に展開し、約3年半が経過している「ながいコイン」。概算で市民1人あたり平均2.6万円利用されている計算となり、地域経済の活性化のほか、高齢者の皆さんのスマホ利用促進にも寄与しています。令和7年からは、「ながいコインアプリ」も登場し、ますます利用しやすくなりました。

総消費額 6.26億円 (R8.2現在) 加盟店数 165店舗



ながいコインアプリ

これまでもスマートフォン(WEBサイト)で利用できましたが、アプリでは利便性がぐんとアップしました



特徴1 再ログイン不要

今までは一定期間が経過すると再ログインが必要でしたが、アプリでは常にログイン状態が保たれます。★既に作成しているながいコインのログインIDとパスワードを継続して利用できます

特徴2 地図から検索

地図上から、加盟店を検索したり、加盟店のジャンルを絞って検索できるようになりました。

特徴3 お得なクーポン

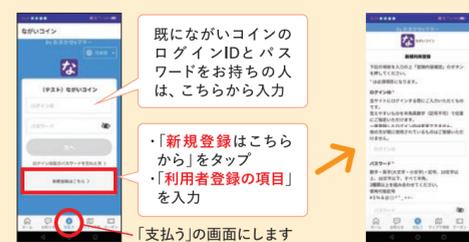
クーポン機能がついています。今後、クーポン配信を予定しており、アプリ上でお知らせします。



さらに、令和8年度からは「ふるさと納税」の返礼品にも登場! 観光や帰省の際の利用はもちろん、市内にお住まいのご両親への贈り物としても最適です。

ながいコインアプリの使い方

STEP 1 利用者登録・ログイン

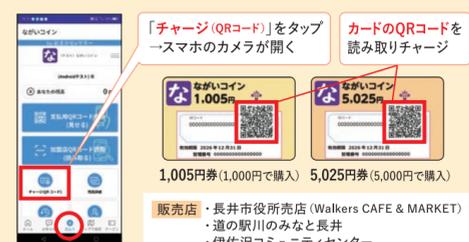


既にながいコインのログインIDとパスワードをお持ちの方は、こちらから入力

・「新規登録はこちら」をタップ
・「利用者登録の項目」を入力

「支払う」の画面にします

STEP 2 カードを購入してチャージする



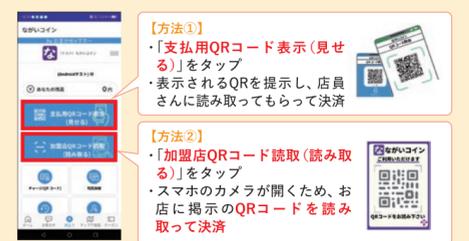
「チャージ(QRコード)」をタップ
→スマホのカメラが開く

カードのQRコードを読み取りチャージ

1,005円券(1,000円で購入) 5,025円券(5,000円で購入)

販売店・長井市役所売店(Walkers CAFE & MARKET)
道の駅川のみと長井
伊佐沢コミュニティセンター
おらんだ市場菜なポート
タスパークホテル長井フロントNew!

STEP 3 ながいコインで支払う



【方法1】
・「支払用QRコード表示(見せる)」をタップ
・表示されるQRを提示し、店員さんに読み取ってもらって決済

【方法2】
・「加盟店QRコード読取り(読み取る)」をタップ
・スマホのカメラが開くため、お店に掲示のQRコードを読み取って決済

CLOSE-UP 2

eスポーツで未来を生き抜く力を育てる



eスポーツは、コンピューターゲームを競技として行うスポーツです。長井市では、令和8年度から地域クラブ「e-Sports Club NAGAI」を発足します。eスポーツのスキルアップはもちろん、AIやメタバース*、動画編集、音楽制作など、幅広い分野を専属スタッフがサポート。将来を担う子どもたちの挑戦と成長を後押しします。

※メタバース: インターネット上で、自分の分身(アバター)を使って交流や体験ができる仮想空間

令和8年度スタート!

地域クラブ「e-Sports Club NAGAI」



対象/小学生(3~6年生)、中学生、高校生[小中高各10名程度]
活動場所/タスパークホテル長井1階 e-Sports studio Ne-st
主な内容(一例)/
・eスポーツタイトルスキルアップ教室
・生成AIを活用したクリエイター教室
・オリジナル動画・音楽制作
・簡単なプログラミング教室

募集/令和8年度からの開始を予定
詳細はNe-stのHPをご覧ください

皆さんもご利用ください! eスポーツスタジオ「Ne-st」



タスパークホテル長井の1階にある「Ne-st」では、高性能PCを10台設置するなど充実した環境でeスポーツに熱中することができます。常駐するスタッフのサポートの下、子どもからお年寄りまで、初めての人でも気軽に体験できます。観光客はホテルに宿泊しながら楽しめることも魅力です。

あやめRepo vol.90

発行 山形県長井市 問い合わせ 長井市総合政策課 tel.0238-82-8000 https://www.city.nagai.yamagata.jp

CONTENTS 01

さらに注目! 認知度・ブランド価値が一段と拡大!

02-03

データ分析で、安心と便利を次のステージへ
・仮想のまちで、安心・安全な未来を見える化

04

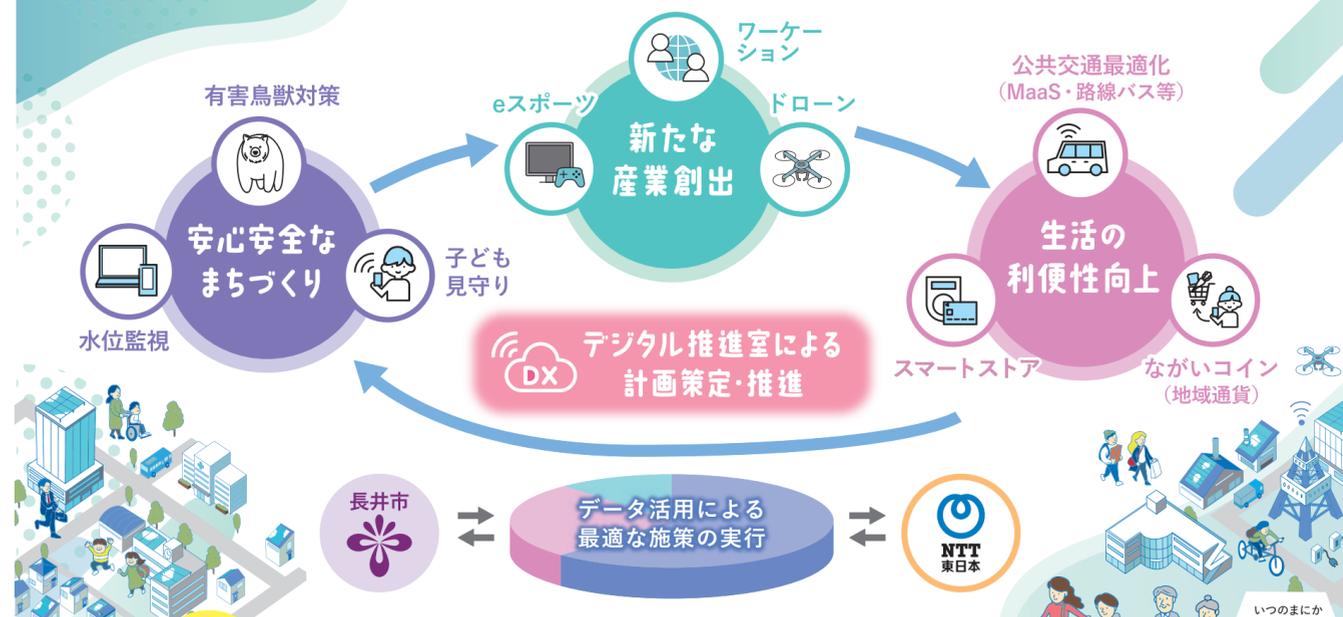
ながいコインがますます便利に!
・eスポーツで未来を生き抜く力を育てる



スマートシティ長井はネクストステージへ

長井市では、あらゆる世代が住み慣れた地域にいつまでも暮らせるまち「スマートシティ長井」の実現に向けて、多種多様な分野でデジタル技術を活用した取り組みを実施しています。今回は、各分野で収集される「データ」に着目し、日常生活の安心や便利のために、どのようにデータが活用されているか、また今後の施策について紹介します。

Next 令和8年度はスマートシティ長井2.0へ Version UP!



さらに注目! 認知度・ブランド価値が一段と拡大!

Focus 01 全国からの視察団

自治体の先進事例として、来訪者数がさらに増加!



参加された人の声 / (抜粋)
市として一貫性のある施策を打ち出している

先進的な取り組みで、参考になるものばかり
長井市の事業をモデルに、ぜひ事業の検討をしたい

Focus 02 講演・セミナー

「自治体・公共Week2025」にて 全国へ発信 (令和7年7月2日/東京都)



3日間で21,342人が来場した全国的自治体・公共向け展示会「自治体・公共Week2025」にて、「スマートシティ長井」実現に向けたこれまでの取り組みや今後の展望について講演。当日は全国から集まった約240人の官公庁職員や民間事業者が聴講し、全国的なPRにつながりました。

【その他の講演実績(一例)】

- 鹿児島県買ひ物弱者支援事例紹介セミナー (令和7年3月14日/鹿児島市)
- 統合型eスポーツクラブサミット in 山形 (令和7年9月6日/米沢市)

Focus 03 メディア掲載

取り組みが反響を呼び、メディア露出が拡大

- 市営バス スマホで確認(令和7年10月10日/山形新聞)
- 「ながいコイン」のスマホアプリ開始 (令和7年5月31日/山形新聞)
- 地方公共団体のキーパーソンに聞く vol.7 (令和7年7月8日/総務省 地域社会DXナビ・ネット記事)
- 長井市スマートストア「モバイル注文」展開 (令和7年7月23日/山形新聞)
- 山形県長井市のデジタル地域通貨「ながいコイン」徹底解説! カードとスマホで広がる新しいまちの魅力 (令和7年7月29日/ご当地ベィ・ネット記事)
- 地域のDX化、より加速 最終年度迎えた「スマートシティ長井」実現事業 (令和7年8月28日/山形新聞)
- デジタル技術を活用した子ども見守り (月刊あづま〜る10月号)
- クマ監視にAI効果アリ 長井市 カメラ設置5年、負担軽減(令和7年12月7日/河北新報)
- クマに翻ろうされた1年…人の生活圏とクマの生息域が重なる「自治体ごと」に新たな対策も (令和7年12月16日/さくらんぼテレビ)

データ分析で、**安心**と**便利**を次のステージへ

分析① 市営路線バスの乗降データ



手集計していたデータをデジタル化
停留所や時刻表の見直しを推進

RFID^{※1}を付した定期券を乗降時にタッチすることで、匿名の乗降データを収集。現金や回数券利用者はドライバーがタブレットに入力し収集。このデータを分析し、ダイヤ改正やバス停再編など、バス路線の最適化に役立っています。

※1:Radio Frequency Identifierの略。無線通信と個体識別情報(ID)を埋め込んだタグを用いて情報をやり取りする技術

乗降データの分析により、バス停・時刻表を最適化



データを地図上で見える化

年間乗降数の少ないルートを見直し

●最適化の一例

走行距離…約**54** km/日 **短縮** 約**80**万円/年 **コスト削減**に

より多くの人に利用してもらえる
ルートやバス停の**新設**へ

※2:燃料費:160円/ℓ、燃費:8ℓ/km、乗務員人件費:時給2,000円と仮定し算定

分析② 有害鳥獣の出没状況



動物を自動撮影

生態把握(AIがクマ判定)

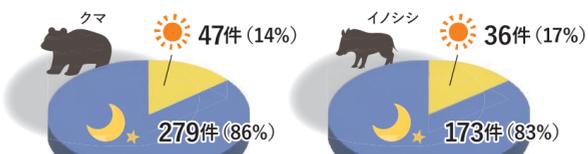
遠隔で捕獲確認

出没パターンを可視化し、有害鳥獣対策を効率化

有害鳥獣の出没が懸念される箇所にモーションセンサーカメラを設置し、撮影データから、出没する鳥獣の種類や出没時期・時間などを把握し効率的な対処につなげています。

AI判定で通報がない深夜も出没が把握可能に

時間帯別 出没数[※]



※令和7年4月～12月合計、数値はカメラ画像を基にデジタル推進室で計測

クマ出没の認知件数(令和7年度)

通報のみ…**115**件 → **デジタル+通報**…**441**件

動向把握や見回りの省力化につながり、
非常に助かっている(猟友会からの声)

深掘りレポート データを読み解き、まちづくりに活かす

～職員によるデータ分析～

ケース1 健康診断の受診率分析

課題 市が実施する各種健康診断の受診傾向の分析ができておらず、効果的な受診勧奨ができていない

分析結果 地区別・月別・男女別に各健診の受診率を可視化



目指すゴール 受診率の低い属性に対して重点的に勧奨を行うことで、受診率の向上につながり、さらなる健康増進へ

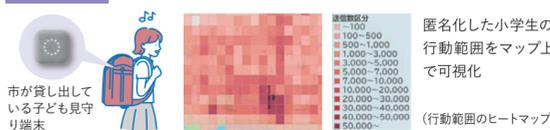
データを有効に活用し、より良いまちづくりを実現するため、若手・中堅職員を対象にデータ分析・活用に係る講座やワークショップを実施。専用のデータ分析ツール(BIツール)を職員自ら操作し、分析を重ねることで、データ分析のスキル向上を図っています。今後も、庁内におけるデータ分析・活用を積極的に推進することで、より効果的な各種施策の展開につなげていきます。



ケース2 子どもの行動範囲分析

課題 全国的に水害や熱中症、有害鳥獣の出没などのリスクが増加する中で、子どもの安心な暮らしを持続的に守る必要がある

分析結果 子ども見守り端末から行動範囲をマップで可視化



市が貸し出している子ども見守り端末

匿名化した小学生の行動範囲をマップ上で可視化
(行動範囲のヒートマップ)

目指すゴール 子どもの往来が多い場所を把握することで、防犯カメラや熱中症センサーの効果的な設置場所の検討につながり、子どもの安心な暮らしを実現

Topics

仮想のまちで、 安心・安全な未来を見える化

— デジタルツインの活用 —



デジタルツインとは

現実空間にある地形や構築物(河川、道路、建物等)を仮想空間(3D空間)でリアルに再現し、3D空間上で高度なシミュレーションを行うことができる最新技術。防災・まちづくり・観光などさまざまな分野での活用が期待されています。

- 1 現実空間からデータを取得
- 2 3D空間を活用したシミュレーション
- 3 実際の取り組みへ反映

デジタルツイン化した市役所周辺

STORY 01 | 協定締結

デジタルツインを防災分野に活用し、強靱かつ持続可能な地域防災の実現に向けて、令和7年8月6日に、デジタルツインのノウハウがある民間事業者4社と『デジタルツイン及びドローンを活用した地域防災強化の相互協力に関する連携協定』を締結しました。



協定締結式

【各者の役割】

長井市 本協定の取り組みを行う実証フィールドや関連するデータを提供

NTT東日本株式会社
事業の全体総括、無線ネットワークや防災ソリューションを提供

株式会社NTT e-Drone Technology
長井市内の空撮データ等、ドローンソリューションを提供

NAVER Cloud Corporation (NAVERクラウド)
ドローンや衛星画像等を基にした、デジタルツインの構築ソリューションを提供

Korea Water Resources Corporation (韓国水資源公社)
デジタルツイン上での浸水予測など水資源の管理ソリューションを提供

STORY 02 | 市内のデジタルツインを構築

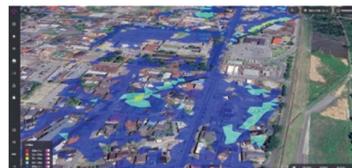
衛星写真と標高データを用いて市内のデジタルツインを構築しました。特に、市役所周辺や水害の危険性が高い最上川付近は、ドローンで撮影した画像をもとに、よりリアルな3Dマップを作成しました。



市役所周辺のデジタルツイン

STORY 03 | 防災関連データの高度化

デジタルツインにおいて、ハザードマップや過去の豪雨時における浸水範囲など、防災分野に関する情報を可視化しました。降雨量や時系列に応じた浸水範囲や浸水深を把握できるため、従来ではできなかった時間ごとの避難ルートの検討等が可能になります。



ハザードマップの浸水想定を3Dマップで可視化



令和4年8月3日豪雨における浸水範囲も時系列で把握可能

STORY 04 | 防災訓練での展示

令和7年9月26日に実施された長井市総合防災訓練において、デジタルツインを展示。訓練に参加した致芳小学校の児童もデジタルツインを見学。児童からは「わかりやすい!」「面白い!」などの声が聞かれました。



NEXT STORY

今後の展望

来年度以降は、デジタルツインの精度を高めることで、防災分野の活用をさらに進める予定です。そのほか、まちづくりや有害鳥獣対策など、多分野における活用によって、市民の皆さんの安心・安全な暮らしの実現を目指していきます。

- ① 防災対策の強化
被害予測・避難シミュレーション・危険箇所の見える化
- ② 有害鳥獣対策の効率化
行動パターンの見える化で、事前の対策・住民周知・捕獲を効率化
- ③ 都市計画・再開発の検討
新しい建物配置、人流・車流、日影、景観のシミュレーション